

# ホール形式

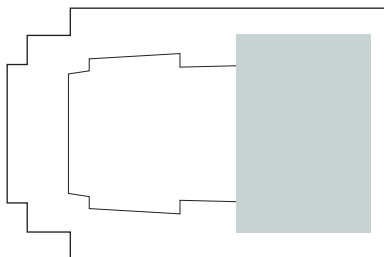
## 森のホール 車いす6席

■ 舞台部分    ■ オーケストラピット部分    □ 客席部分  
 ≡ ≡ プロセニウムアーチ

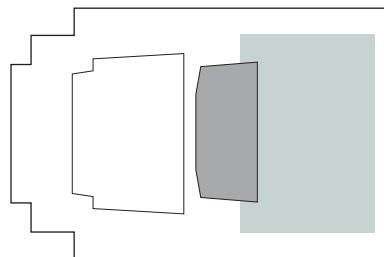
<p>① コンサート形式①：711席（1F 569席、2F 142席） 間口23.0×奥行9.0（m）</p> <p>プロセニウムアーチが舞台奥に設置され、中規模のオーケストラまで対応できます。</p> 	<p>⑤ 演劇③：583席（1F 463席、2F 120席） 間口12.6×高さ7.2~9.0×奥行12.6（m）</p> <p>プロセニウムアーチが一番前面に移動し、1階客席反転迫りの一部が舞台に変わります。本格的な演劇公演に対応できます。</p> 
<p>② コンサート形式②：637席（1F 495席、2F 142席） 間口12.6~23.0×奥行9.0~12.6（m）</p> <p>舞台の奥行きが広がり、120名規模のオーケストラ・コンサートに対応できます。</p> 	<p>⑥ オペラ①：505席（1F 385席、2F 120席） 間口12.6×高さ7.2~9.0×奥行16.0（m）</p> <p>1階観客席反転迫りの一部が下降しオーケストラピットに変わります。オペラ公演などに利用できます。</p> 
<p>③ 演劇①：695席（1F 569席、2F 126席） 間口12.6×高さ7.2~9.0×奥行9.0（m）</p> <p>プロセニウムアーチが舞台中ほどに設置してあり、中規模の演劇や発表会の使用に適しています。</p> 	<p>⑦ オペラ②：505席（1F 385席、2F 120席） 間口12.6×高さ7.2~9.0×奥行16.0（m）</p> <p>舞台の一部に仮設舞台を設置することで、オペラ①の2倍の規模のオーケストラを収容することができ、大編成のオペラ公演が可能になります。</p> 
<p>④ 演劇②：621席（1F 495席、2F 126席） 間口12.6×高さ7.2~9.0×奥行9.0~12.6（m）</p> <p>1階客席反転迫りの一部が、張り出し舞台またはオーケストラピットになり、中規模の演劇、ミュージカル公演に使用できます。</p> 	<p>⑧ 平土間形式：406席（1F 264席、2F 142席） 間口12.6~23.0×奥行24.0（m）</p> <p>1階中央部のすべての客席がなくなり平土間になります。</p> 

## 風のホール 車いす6席

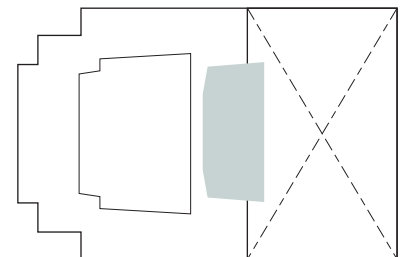
① プロセニウムステージ形式  
：292席



② 前舞台形式(1)  
（オーケストラピット床可変式  
張り出し舞台）  
：194席



③ 前舞台形式(2)  
（音響反射板、オーケストラピット  
床可変式張り出し舞台）  
：194席



■ 舞台部分    ■ オーケストラピット部分    □ 客席部分    ⊠ 後舞台

※プロセニウムステージ形式と前舞台形式(1)の場合、音響反射板は使用できません。

- ※客席数には、見切れ席も含んでいます。
- ※客席数には、車いす席を含んでいません。
- ※一回の利用につき舞台は1形式に限ります。